

子供達と高齢者の歩行空間の安全を守る為、生活道路におけるあらゆる対策を講じるよう、鎌倉市に対して、働きかけることを求める請願書



1 請願の要旨

昨今、鎌倉市内の生活道路への車両の流入が増加している。この事により、子ども達と高齢者の安全が脅かされており、平成27年7月15日、11月25日には稲村ヶ崎小学校の児童が、車両と接触事故に巻き込まれた。また、高齢者が狭い道で車を避けようとして転んで怪我をするケースや、裏道の細い路地で大型バイクとの接触も発生している。よって、生活道路の子供達と高齢者の歩行空間の安全を守る為、鎌倉市にあらゆる対策を講じるよう働きかけることを求めるものである。

2 請願の理由

メディアへの露出、カーナビ・裏道マップ等の普及、国道や県道などの渋滞等の影響、首都圏中央連絡自動車道の開通などにより、鎌倉市内の生活道路への車両の流入が増加している。これは以前のように土日祝祭日だけではなく、平日も仕事での活動が動く時間帯の車両の流入が増加している傾向が見て取れる。

このことにより、子供達と高齢者の安全が脅かされており、平成27年7月15日、11月25日に稲村ヶ崎小学校の児童が、車両と接触事故を起こしている。また、高齢者が車を避けようとして転んで怪我をするケースや、裏道の細い路地で大型バイクとの接触も発生している。その他、生活道路の路面劣化も激しくこの状態を放置すれば、道路管理に起因する事故が増加する事も予想される。2020年に控えた東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、この傾向は更に加速する事が予想され、このまま放置されると、事故などに対する不安は増大するばかりであり、子供達と高齢者をはじめとする鎌倉市民が安心して暮らせるよう、鎌倉市は、神奈川県警察、鎌倉警察署等の関係機関と連携し、他の自治体の下記の事例を参考にし、特段に対策が必要とされる場所を筆頭に生活道路における安全対策を講じるよう、鎌倉市議会におかれてはどうか鎌倉市民の切実な思いを受け止めて頂き、本請願を採択し、鎌倉市議会より正式に鎌倉市に対して働きかけて頂きたい。以上の理由を以て請願する。

↑裏面の歩行者尊重道路、の路線が増えるきっかけを作った請願書です。陳情と請願の違いは議員の署名があるか無いかと、請願は権利が国民に憲法で保障されている事。

※対策事例として下記を挙げるが、あらゆる手段をご検討いただきたい。

- ・交通規制の検討(一方通行、曜日時間帯別、住民以外通行禁止等)
- ・信号による交互通行の検討
- ・カラー舗装、速度制御のハンプ、速度制御の掲示等の整備
- ・速度制御の啓発活動

※特に問題の場所は下記と請願者は考えるがこの限りではない。

- ・稲村ヶ崎駅近隣～極楽寺駅～極楽寺切通し～坂ノ下に抜ける道
- ・佐助一丁目信号～御成中学校前～六地藏前～第一小学校前～鎌倉女学院前に抜ける道
- ・長谷のり真安齋商店脇～高德院裏側に抜ける道
- ・江ノ電鎌倉高校前～腰越小学校前に抜ける道
- ・鎌倉郵便局横～夷堂橋～大町四ツ角に抜ける道
- ・今小路通りの御成交番前付近～英勝寺付近



◆鎌倉市議会議員長嶋竜弘 106号3期目7号(2月号)

※また、不適切な事務処理発覚、今度は文化財!

私への告発で事実が明らかになりました(1月15日ブログ掲載)

- ・埋蔵文化財の発掘報告書を40件未作成 /産経ニュース
- ・発掘報告書68件未刊行 /神奈川新聞ニュース

発掘調査終了後3年以内の作成が定められている埋蔵文化財調査報告書が、2005年～2017年で78件未刊行があり「3年ルール」を過ぎているものが68件にも及ぶ。2017年度中に27件その他を2021年度までに刊行する予定。総事業費は4億円に上る(新聞ヨリ郷土史家からは「世界遺産の登録を目指していたにもかかわらず、あまりにお粗末だ」などとする批判の声も上がっているそうです。

◆ 東日本大震災復興祈願万灯会(浄光明寺万灯会)

あれから7年、あの時の記憶、薄れていませんか?



毎年恒例の万灯会は昨年同様浄光明寺さん

- ・3月10日(土)
- ・18時～20時
- ・雨天決行



詳細鎌倉十三仏詣実行委員会↑  
(海蔵寺さんからの行道は17時半～スタート、雨天中止)  
今、東北の被災地に何かしてあげたいと思われていたら、「観光で行ってあげる」事が一番です。中々時間が無いと言う方は、万灯に思いを綴ってみてはいかがでしょう?

志納金は復興義援金として被災地にお届けいたします。(万灯一基志納金500円)

毎年、私が共同代表を務めています「災害復興交流団体・鎌倉とどけ隊」が運営のお手伝いをしております。

鎌倉 災害復興交流団体 とどけ隊

私が紹介議員として署名、提出した、請願1号「子供達と高齢者の歩行空間の安全を守る為、生活道路におけるあらゆる対策を講じるよう、鎌倉市に対して働きかけることを求める請願書」が、平成28年6議会に全会一致で採択されています(裏面掲載)。市では下記表の歩行者尊重道路①～④を位置付けていましたが、請願を受けて②、⑤、⑥、⑦の路線が追加されたので、対応策について様々な要望を私からしている所です。ハンプ設置はその一環ですが、カラー舗装、歩道段差解消、速度制御表示、キャンペーン、交通規制等あらゆる事が考えられます。カラー舗装等一部実施済みの場所もありますが、平成30年度から取組をしてゆく中で、行政側からの要請が自治会等にございましたらご協力頂けたら幸いです。

区分	名称	備考
平成8年の鎌倉地域の地区交通計画に関する提言に位置付けられている歩行者尊重道路	①今小路通り	
	②小町大路	請願書を受け鎌倉郵便局前交差点から小町大路間を結ぶ道路を追加
	③海浜公園～周辺観光拠点間道路	都市計画道路として整備されている海浜公園前交差点以北の区間は歩道が確保されていることから歩行者尊重道路の位置づけを解除
	④江ノ電長谷駅前道路	
追加した歩行者尊重道路	⑤稲村ヶ崎駅近隣～極楽寺駅～極楽寺切通し～坂ノ下に抜ける道路	請願書を受けて追加
	⑥佐助一丁目信号～御成中学校前～鎌倉女学院前に抜ける道路	〃
	⑦県道藤沢鎌倉線から長谷大谷戸交差点に抜ける道路	〃
	⑧若宮大路横須賀線高架下付近から御成小学校前交差点に抜ける道路	専門部会での意見を踏まえて追加
	⑨二の鳥居前交差点から鎌工会館ビルに抜ける道路	

